

カウンセリングサービス（スリーアローズ）／ハラスメント相談窓口

株式会社フィスメック

従業員のメンタルヘルス不調の早期発見と適切な対応のためのカウンセリング

<https://www.fismec.co.jp/counseling/>

サービス分類・提供内容（選択式）		サービス概要・特徴（500文字以内）
体制・業務構築支援	産業保健体制構築支援	<input type="radio"/>
	健康経営推進支援	<input type="radio"/>
	ストレスチェック制度対応支援	<input type="radio"/>
	ハラスメント対策支援	<input type="radio"/>
	過重労働対策支援	<input type="radio"/>
	復職支援に係る体制・業務構築支援	<input type="radio"/>
調査・分析支援（人的支援）		
現状把握・分析システム	ストレスチェックシステム	
	パルスサーベイ・従業員意識調査	
	健康・労務データ統合分析システム	
組織づくり・職場環境改善	組織開発コンサルティング	
	管理職向け研修 従業員向け研修	
管理職向け個別支援		
従業員支援	相談窓口・カウンセリング	<input type="radio"/>
	セルフケア研修	
	セルフケア支援アプリ	
	復職支援	

サービス概要・特徴（500文字以内）

電話、対面（オンライン可）、Webメールによるカウンセリングサービスを全国で提供。

カウンセラーの質の確保：公認心理師、臨床心理士、産業カウンセラーなどの資格を有するカウンセラーが相談業務を担当。2か月に一度、事例検討やスキル向上のための勉強会を実施し、専門性の維持と質の向上に努めている。

実施方法：電話カウンセリングは、本社の電話相談室で対応。対面カウンセリングは、相談者から「こころの広場（Web、LINE）」や電話、メールなどで申込を受け付け、条件に合ったカウンセラーに引き継ぐもの。Webメールカウンセリングは「こころ相談ネット」にてテキストで相談できるもの。利用者は人事担当者を介さずにカウンセリングを利用可。

報告：人事担当者向けに利用者の人数・属性などの報告書を提出。

ハラスメント相談もカウンセラーが対応。ただ通報を受け付ける窓口とは違い、心情に寄り添いながら対応できることが特徴。カウンセラーが対応することで、通報者の感情が整理され、通報ではない解決に進むケースもある。

期待される効果		根拠の詳細		
【凡例】○：実証評価▷：導入企業の評価●：理論的裏付け		導入企業の評価	理論的裏付け	実証評価
基盤整備	1. 法制度対応			-
	2. 制度・施策体系の整理			-
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○		-
	4. 組織状況の把握			-
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上			
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上			
	7. プログラムへの参加率・利用率向上			
	8. 不調の早期発見・対応			
	9. ヘルスリテラシー・意識向上			
	10. 仕事のストレス要因低減			
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	○		
	12. 周囲のサポート力向上			
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善			
	14. 健康状態・心理指標改善			
	15. アブセンティーズム改善			
	16. プレゼンティーズム改善			
	17. ワーク・エンゲイジメント向上			
	18. 従業員エンゲイジメント向上			
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）			

*ウェルコ上で掲載される際に複数の根拠がある場合は、凡例の優先順で表示されます。

導入企業の評価（500字以内）
メンタルヘルス相談窓口については、利用率向上を図るために今年度からLINE経由での申し込みができるように改善を行なう予定。

メンタル不調者の増加傾向にある昨今で、社内だけでの対応には限界があり、その担当者の負荷も大きくなっていった。そんな中でカウンセリングサービスがあるという安心感は、従業員のみならず担当者の安心感にも繋がっており頼れる専門家への誘導は絶大なものであると感じる。
メンタル不調までいかない、少しバランスを崩しかけた者にも有効であるので、予防効果の役割があるのも大変ありがたいと感じる。

理論的裏付け（500字以内）

実証評価	
学術介入の有無	エビデンスの水準
(学術介入有りの場合) 氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名（500字以内）	
実証評価の結果概要（500字以内）	

様式3 導入企業の評価

該当する効果			実施概要・結果
基盤整備	1. 法制度対応		サービス利用対象者属性：全従業員 人数：186名 実施期間：2008年2月1日より その他の実施条件：
	2. 制度・施策体系の整理		
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○	
	4. 組織状況の把握		
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上		
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上		
	7. プログラムへの参加率・利用率向上		
	8. 不調の早期発見・対応		
	9. ヘルスリテラシー・意識向上		
	10. 仕事のストレス要因低減		
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	○	
	12. 周囲のサポート力向上		
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善		
	14. 健康状態・心理指標改善		
	15. アブセンティーズム改善		
	16. プレゼンティーズム改善		
	17. ワーク・エンゲイジメント向上		
	18. 従業員エンゲイジメント向上		
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）		

成果・評価コメント ※「該当する効果」との対応がわかるよう（ ）内に効果のNoを付記する

メンタル不調者の増加傾向にある昨今で、社内だけでの対応には限界があり、その担当者の負荷も大きくなっていった。そんな中でカウンセリングサービスがあるという安心感は、従業員のみなならず担当者の安心感にも繋がっており頼れる専門家への誘導は絶大なものであると感じる。

メンタル不調までいかない、少しバランスを崩しかけた者にも有効であるので、予防効果の役割があるのも大変ありがたいと感じる。

評価者情報				
個社ごとの評価結果を根拠とする場合	企業名①	業種	製造業	
	部署名・役職	従業員規模	50人以上1,000人未満	
	企業名②	業種		
	部署名・役職	従業員規模		
	企業名③	業種		
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	アンケート対象及び回答社数			
	実施時期・方法			
	主な設問内容			